

# 【理事会議事録】

日時：2001年7月7日(土) 11時00分～16時20分

場所：国立天文台 三鷹 講義室

出席者：田原，唐牛，郷田，大石，松原，立松，

大橋，上野，茂山，加藤，松元，黒田，山内，吉田 以上14名

欠席者：松田 以上1名

有効委任状提出者：松田 以上1名

他に，山岡天体発見賞選考委員会委員長，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した。

議長：田原博人

署名人：大石雅寿，郷田直輝

## 〈報告〉

1. 前回（2001年3月28日）の理事会議事録が郷田庶務理事より報告され，承認された。
2. 2001年秋季以降の年会についての報告

### (1) 2001年秋季年会について

黒田年会開催地理事から，会場を無料で提供してくださる姫路市に対して，天文学会年会の共催者に，また兵庫県を後援者としてほしいという申し出があり，質疑応答ののち，申し出を承認した。さらに，教育フォーラム，公開講演会，ジュニアセッションに対しては，姫路市教育委員会，兵庫県教育委員会をともに後援者とすることを承認した。また，年会は講演会場の都合上，2箇所の建物を使って行うことが報告された。茂山年会理事より，講演申込数は，概数で，口頭講演が310件，ポスター講演が200件あり，過去最大数であることが報告された。従来の発表形態だと，講演時間は合計で90時間，また8会場が必要となってしまう。そこで，なるべくパラレルセッションを減らすために，口頭講演(a)の場合は口頭発表および質疑応答の時間を合わせて12分と従来より減らし，6会場で講演時間は合計70時間あまりにおさえたい旨の提案があった。なお，講演時間を短縮する場合がある旨は講演の募集要項に記載済みであり，講演申し込み者にはあらかじめ通知済みであることも報告された。議論ののち，この提案は承認された。

### (2) 2002年春季年会について

吉田年会開催地理事から日程は，3月28，29，30日，公開講演会が3月31日の予定である事が報告された。また，公開講演会は茨城県立図書館で行われる予定である。

### (3) 2002年秋季年会について

山内年会開催地理事から日程は，2002年10月7，8，9日の予定である事が報告された。また会場は，宮崎シーガイアコンベンションセンターの予定である。会場の新しい経営者の経営方針が9月に決定されるが，経営者が交代しても予算内での開催は可能であろうとの報告もなされた。また，公開講演の会場は，宮崎銀行の会館または宮崎市民会館を候補としている。さらに公開講演会に対して宮崎科学技術会館を共催者，宮崎天文協会を後援者としてほしい旨の提案があり，質疑応答ののち承認した。なお，どの団体を後援者とするかは，年会開催地理事からの推薦があれば，理事会で議論ののち認めていく方針を今後もとることを確認した。

### (4) 2003年春季以降の年会について

郷田庶務理事より2003年春季以降の年会に関して以下の報告があった。2003年春季年会については東北大学開催の内諾を得ており，現在の連絡担当者は土佐氏である。また，2003年秋季年会については，前回の理事会で報告したとおり愛媛大学開催（栗木氏が連絡担当）の内諾を得ている。さらに，

2004年春季年会は、名古屋大学開催の内諾を得ることができ、当面の連絡担当者は佐藤修二氏である。2004年秋季年会に関しては、国立天文台（水沢）を候補とし、現在交渉中である。

### 3. その他

#### (1) 寄付金に関して

郷田庶務理事より、2001年1月より現在までに天文学会に対して寄付をいただいた方々のリストの紹介があった。

#### (2) 会費督促手数料導入について

立松会計理事より、前回の理事会で次回の評議員会へ提案することの承認を得ている会費督促手数料導入案について、字句などの若干の修正を行った旨の報告があった。さらに、現在の未納金額を文面に書くこと、運営資金が枯渇している状況を訴えるなどの文章を付け加えることが提案され、議論ののち承認された。この結果をもとに修正した文案を理事会メールで配布し、次回評議員会に提案するまでに承認を得ることとなった。

#### (3) 学会会員へのサービス向上の例について

会員数を増やこと、および会費の未納金を減らすための対策について大石 庶務理事より、学会会員数を増やし、会費収入を増加させるために、学会会員 へのサービス向上を考えた方策の例が説明され、意見交換を行った。また、会費の納入方法に関しては、自動引き落としをデフォルトの納入方法にすることが良い方策であることが再度確認され、総会や天文月報誌上でのキャンペーン を大々的に行う等、関係理事の方で検討し、この方策を押し勧めていくことが承認された。

#### (4) 年会開催形態アンケート集計に関して

茂山年会理事より、前回の春季年会で行った年会開催形態に関するアンケートの集計結果について報告があった。開催形態に関してはまとまった意見はないが、何らかの変更が望まれていることは読みとれる。年会実行委員会としては今後も検討をしていき、何らかの新しい形態を提案したい。

#### (5) 第8回アジア太平洋地域会議に関して

第8回アジア太平洋地域会議の組織委員会からの報告が地域会議のLOCである上野月報理事より以下のようになされた。日程は、2002年7月1日に登録、レセプション、7月2日～5日が本会議と決定した。会場は、一橋メモリアルホール。プライマリセッションが4つ、パラレルセッションが6つ予定され、また本会議前後での研究会、ミーティング等は公募する。ファーストサーキュラーは秋に配布予定。IAU京都総会記念基金は、旅費補助の主要な財源として予定している。また、天文学会が所有しているポスターボードを貸し出してもらおう予定である。

#### (6) 新賞の制定について

大学院生およびポスドクのみを対象とした研究奨励的な賞の制定に関して、研究奨励賞選考委員会に検討をお願いしているが、蜂巢研究奨励賞選考委員会委員長より、現在まだ委員会で検討中であり、次回までに何らかの回答を出したい旨の報告がきていることが郷田庶務理事から紹介された。

## 〈議題〉

### 1. 新入会員の承認

郷田庶務理事より、新入会員申込者リストの説明が資料を基にあった。議論ののち、正会員として52名、準会員として16名、賛助会員として1名の入会を承認した。なお、会費未納のため過去に除名になったが再入会の申し込みがあった者についてはその後未納会費を納めたとのことであるので、前回の理事会での決定に基づき、未納会費を納めた時点に遡って会員として承認することとした。

### 2. 2002年度事業計画案に関して

郷田庶務理事より2002年度事業計画案について説明があった。議論ののち、一部修正の上、次回評議員会に案を提案することが承認された。

### 3. 2002年度収支予算案に関して

松原会計理事より2002年度収支予算案について説明があった。議論ののち、次回評議員会に原案を提案することが承認された。また、学会の予算は長期的な赤字傾向にあり、運用上の努力や抜本的な改革が早急に必要であることが確認された。関係理事で議論の上、できれば10月の評議員会に改革案を提案する方針で臨むこととなった。

### 4. 天文功労賞について

継続審議となっている、天文功労賞制定に関する提案に関して山岡天体発見賞選考委員会委員長より説明があった。特に懸案事項となっていた啓発活動を受賞対象とするかどうかは、選考委員会では全員一致で対象とすることに賛成である旨が報告された。これに対して、賞の名称や啓発活動をアマチュアだけに限定することの困難さについて意見が出され、議論された。議論の結果としては、受賞対象に啓発活動を除くということで、本提案を認める。それにより提案された内規案の修正が必要であるが、それは山岡委員長も交えた関係理事で議論し、10月の評議員会に内規案を提案する方針で臨むこととなった。なお、啓発活動に対しては、プロ、アマチュア天文家を問わずに、そのみを受賞対象とした新たな賞を制定する方向で検討委員会を新しく作り、検討を開始するという方針となった。

### 5. 学術用語集増刷について

加藤教育理事より、学術用語集増訂に関する説明があり、また天文学会としてどう対応すべきか、天文教育委員会で検討された意見の紹介も行われた。議論ののち、増訂版には、用語集の内容は流動的であること、またカタカナ表示に関しては柔軟な対応を望む事等を内容とし理事長からの新しいメッセージを付ける。さらに、外来語のカタカナ表示については、場合によっては複数並記することを学会から文部科学省に対して要望することとなった。

### 6. 天文学会Webページの管理などについて

郷田庶務理事より、天文学会Webページの管理等について、関係者（鈴木ネットワーク委員、上野月報理事、大石庶務理事、郷田庶務理事、東條事務長、山崎月報担当事務）で6月13日に協議した結果についての報告が以下のようにあった。

(1) Webのトップはネットワーク委員会の管理責任とし、PASJ、月報、年会、教材は各委員長が責任者。実際の運用は、アルバイトの学生等に任せる場合もある。

(2) 早川基金、天文教育委員会は外にリンクしてあるが、今後はなるべく学会の下につけて、学会の責任体制を明確にする。それにともない、学会側でのファイルのバックアップ体制が必要だが、ハードディスクを定期的にコピーすることで対処する。

(3) 理事会、評議員会、総会の議事録は、月報の担当とする。

(4) 会員へのお知らせ、速報などの掲示のページを学会ホームページに設ける（庶務理事担当）。

以上の協議結果に関しては、意見交換ののち、承認された。さらに、天文研連のページを学会の下におくこと、学会が製作してるポスターや葉書を宣伝するページの作成が要望され、承認された。

### 7. 天文学会における情報公開について

天文学会における情報公開に関しては、会員の個人情報以外は原則としてすべての情報を公開とし、情報公開の要望、問い合わせ等に関しては庶務理事が窓口となることが再確認された。

### 8. 図書館協会への要望について

会員の方より、理事長宛に、日本十進分類法に定められている未確認飛行物体の分類番号が現在のような天文学の分類に入っているのではなく、他へ変更するよう、その要望書を学会から図書館協会へ出して欲しいとの手紙がきている事の報告が郷田庶務理事より行われた。議論ののち、理事長名で図書館協会へ要望書を出すこととなった。

### 9. 宮崎年会について

宮崎年会においては、JTBが交通・ホテルの手配以外に、依頼すれば年会の登録、懇親会などの事前登録および登録料、懇親会費の事前徴収の作業を無料で行ってくれる等の説明が山内年会開催地理事

より説明があった。ホテルと会場間のバスの手配、懇親会の準備など人数を事前に把握したいので、なるべく事前登録等を行いたい旨の提案があり、意見交換を行った。結果として、どういう問題点が起こるのかを調査する意味も含めて、宮崎の年会で事前の登録・徴収を試しにやってみること、詳細は、関係理事で検討を行っていく方針が承認された。

#### 10. 秋季通常総会議題について

秋季通常総会の議題に関しては、

- (1) 2002年事業計画案、
- (2) 2002年収支予算案、
- (3) 「会費に関する細則」変更の承認、
- (4) 新評議員の承認、
- (5) その他としたい旨の説明が郷田庶務理事より説明があり、承認された。

#### 11. その他

##### (1) tennet上での営利活動について

現在までtennetの利用に関して特に規定はなかったが、企業が営利目的に使用する事態が生じたこともあり、原則として営利活動に利用しないよう、学会のホームページに掲載するとともにtennetにも注意を流し、会員へ通知することとなった。

##### (2) 賛助会員の年会での出展について

賛助会員が年会で出展する場合、今までは年会会場のみであったが、公開講演会場での出展も会場の許可さえあれば、学会としては認めることとした。

##### (3) 記者会見のあり方について

記者会見における発表方法の改善について意見交換を行った。記者会見設定を準備をするにあたっては、学会側で時間、経費、人力をかなり使っており、この問題に関してはじっくりと議論していくことが必要ということが確認され、継続的に審議していくこととなった。また、林忠四郎賞の受賞報告に関しては、受賞者本人に記者会見に出てもらうことことが必要であると指摘され、その旨承認された。

##### (4) 次回理事会の予定について

次回理事会の予定を以下のように決定した。

2001年10月6日(土)

2001年8月3日

議長 田原博人 印  
署名人 大石雅寿 印  
署名人 郷田直輝 印

---

[天文学会ホームページに戻る](#)